

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名		国際教育交流事業の振興		担当部局庁	大臣官房国際課		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度		平成19年度		担当課室	国際課企画調整室		企画調整室長 佐々木亨		
会計区分		一般会計		施策名	XⅢ-1 国際交流の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)		-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		国際化が進展する中、我が国が教育や文化・スポーツ・科学技術・学術の分野で国際社会をリードしていくためには、これらの分野における国際交流を一層推進することが不可欠であるため、国際教育交流業務の高度化及び国際教育交流の振興に資する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)		<p>○国際教育交流アソシエイト: 高度な外国語及び日本語能力を有し、かつ文部科学行政及び国際教育交流に関する知識・関心を有する人材を「国際教育交流アソシエイト」として配置し、国際会議関係資料や文部科学省を訪問する外国人等に対する説明資料等を翻訳させ、我が国の教育・文化・スポーツ・科学技術・学術分野における取り組みを世界に向けて情報発信する。</p> <p>○専門家会議への参加: 有識者等を2国間の専門家会議に派遣し、国際教育交流の振興に資する。 (平成22年度限り。平成23年度は、文部科学省の国際交流事業の推進方策審議に係る経費を予算措置。)</p>							
実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位: 百万円)				20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		予算の状況	当初予算	19	19	18	16	17	
			補正予算	0	0	0	0		
			繰越し等	0	0	0	0		
			計	19	19	18	16	17	
		執行額	16	15	14				
執行率(%)	84.2%	78.9%	77.8%						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
		国際教育交流アソシエイトによる資料翻訳の定型業務関連事務経費がほとんどを占めるため、定量的な成果目標の設定にはなじまない。		成果実績		-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
		国際教育交流アソシエイトによる資料翻訳の作業件数		活動実績 (当初見込み)	件	360	292	422 (300)	- (300)
単位当たりコスト		33,175円 (円/件)		算出根拠	22年度執行額を22年度翻訳件数で除したもの。				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由					
	諸謝金	10.5 百万円	11.6百万円						
	委員等旅費	0.4 百万円	0.4百万円						
	庁費	4.9 百万円	4.7百万円						
計	15.8 百万円	16.7百万円							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	-	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	-	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、用途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>(各項目の評価を踏まえた課題や今後の改善の方針)</p> <p>国際交流アソシエイトの採用にあたっては、公募の上、書面及び実技・面接試験を実施し、高度な能力を有する者を選考している。採用後は、日常の業務管理及び成果物の内容確認を実施しており、また、各国際交流アソシエイトの勤務時間について、業務量や業務分担に留意しながら、適正に管理している。</p> <p>今後、各種翻訳依頼文書の重要度、緊急度、優先度をアソシエイトに十分説明し、認識させた上で、業務に従事させる。また、省内の依頼者(担当局課)のニーズを十分に理解し、質の高い翻訳等を行うため、アソシエイトと担当局課とのコミュニケーションの円滑化を一層図る必要がある。</p> <p>さらに、文部科学省における国際広報を強化する必要があるため、特に英語版ホームページの充実を図るなど、国際交流アソシエイトによる翻訳業務の対象を拡充していく。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>1. 事業評価の観点: この事業は、高度な外国語及び日本語能力を有する者を採用し、国際教育交流に関する文書等の翻訳、外国語による資料作成、通訳等の業務を行わせるものであり、今回、予算執行率の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見: 毎年度恒常的に予算に不用が生じていたが、平成23年度において予算の縮減を図るなど一定の見直しを図っている。今後においては、文部科学省における国際広報、特に英語版ホームページの充実を図ることとしており、現時点において見直しの余地はないが、引き続き予算の効果的・効率的な執行に努めるべきである。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

文部科学省
14百万円

諸謝金 9.2百万円
庁費 4.3百万円
文化人等派遣外国旅費 0.5百万円

} を含む

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A. 文部科学省			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
諸謝金	国際交流アソシエイトへの謝金	9			
文化人等派遣外国旅費	国際機関等への研究者の派遣	1			
庁費	日々雇用職員に対する賃金	4			
計		14	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について
 記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)